

香川県高松市シビックコア地区

平成12(2000)年4月26日策定

～瀬戸の都・高松 21世紀の城<新玉藻城づくり>～ 15.0ha

基本方針

- 新しい文化・交流拠点の形成
- 行政機能の高度化
- シンボリックな都市空間の演出
- 「瀬戸の都」の雰囲気的情勢
- 連続性のある賑わい空間の形成

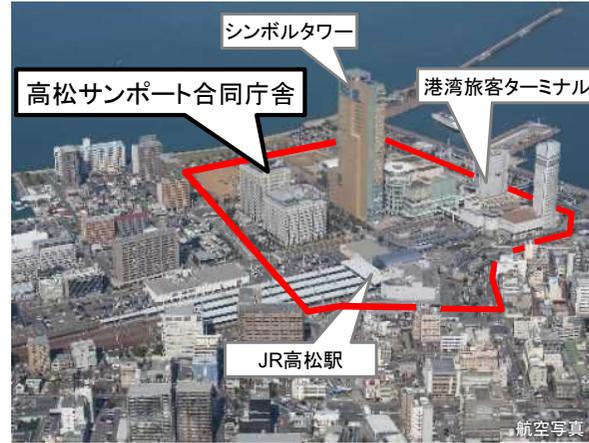


主要施設

- ・高松サポート合同庁舎
- ・高松シンボルタワー
- ・高松港湾旅客ターミナル
- ・JR高松駅 等

当時の関連都市整備事業

- ・高松港頭地区都市再生総合整備事業
- ・香川中央都市計画事業高松港頭地区区画整理事業
- ・高松琴平電鉄連続立体交差事業 等



- 文化、交流、業務の中心地であることを印象付けるシンボリックな空間
- ウォーターフロント立地を生かし、海に向けて開放的で展望の優れた都市景観、「瀬戸の都・高松」の雰囲気を感じさせる空間
- 多目的広場や歩行者専用道路を中心に主動線とする歩行者ネットワークによる連続した賑わい空間の形成

- 合同庁舎、シンボルタワー、ホテルなど官公庁施設と民間施設の適切な機能分担と施設間の連携強化及びこれらを保管するサービス機能などの複合化を図る
- 四国主要ブロック官署を集約し各省庁の連携、利便性の向上など新たな都市拠点の形成に寄与する



シビックコア地区に整備された官庁施設の概要



- 庁舎名称(括弧書きは国有財産台帳口座名)
高松サポート合同庁舎
(四国財務局高松サポート合同庁舎)
- 建築年次・規模構造
北館：2006年・S造 14階建 地下2階
南館：2017年・S造 11階建 地下1階
- 延床面積
北館：約29,848㎡
南館：約22,770㎡

【主な取組み】

- ・多目的広場や歩行者専用道路を整備
- ・四国における広域防災拠点としての機能整備 等